

# 新型コロナウイルスの影響を乗り越え、新たな学びへ!



## 「感染症に負けるな」

和歌山県教育委員会 教育長 <sup>みやざき いずみ</sup> 宮崎 泉



新型コロナウイルス感染症が流行し始めて色々な行事やイベントが先送り、または中止になりました。

そんな通常の仕事がままならない状況で、モチベーション維持が必要とランニングを始めました。ただ無心に走っていると、老若男女を問わず多くの人たちと行き交います。すると、今のコロナ禍の状態にもかかわらず平穏な気持ちになりました。自分自身を保てるような世界を持つことも良いことだと思いました。

しかし、現実やはり世界的に新型コロナウイルスが蔓延しているのです。

突然の休業要請から5ヶ月が経とうとしています。

当初の頃と比べると、自分も含め、皆さんの生活ぶりに格段に落ち着きが出てきたと感心しています。

それぞれが、真剣に自分の問題として意識しているからだと思います。

人と話をするときはマスクをします。大勢の人が集まる場所には極力行かないようにします。食べる時も飛沫が飛ばないように注意します。適度な距離を保ちます。

これがコロナ時代の新しい生活様式なのかなと思います。

そんな中ひと月以上、県内で発生していなかった新型コロナウイルス感染症が少し流行してきました。とても心配しています。

しかし学校は、皆さんの冷静な対応のおかげで、感染者が出て最小限の休校をした後に粛々と継続されています。心配や不安が無くなったわけではありませんが、コロナ禍のなか、感染症とうまく付き合うというやり方を選択するようになってきたのだと感じています。せざるを得ないのかも知れませんが、ウィズコロナの考え方が必要なのでしょう。

なんと言っても、もうあとがありません。夏休みも大幅に短縮します。そんなギリギリの選択の中で学校長、教員、その他教育に携わる多くの方々、また保護者の皆様などの努力の上で、学校運営がなされています。本当にありがたいことです。

教育委員会としては、今後とも、感染の防止はもちろんのこと、万が一感染しても迅速に対応して最小限の被害に留めるよう健康管理に努めてまいります。

皆さんも負けずに頑張りましょう。

そして、この時代を乗り越えましょう。

## 休校中の学び

### 分散登校で

各学校では、学年別や地区別、時間差等、それぞれ工夫して分散登校を実施しました。

登校日には、子供の健康状態を丁寧に観察した後、配布していた学習課題について解説するなどの学習支援を行いました。また、基礎学力の定着に向けて前学年の学習内容を復習するとともに、新学年の内容についても学習できるよう、工夫して取り組みました。



上/学習課題提出の様子  
右/学習課題について解説している様子  
(和歌山市立広瀬小学校)



### オンライン学習で

臨時休業期間中、インターネットを使った授業動画・学習課題の配信やテレビ会議システムを使った双方向のオンライン学習等、ICTを活用した家庭学習の充実にも努めてきました。

今後は、普段の授業においてもICTを活用した学習活動を積極的に取り入れるとともに、オンライン学習等の更なる充実や環境整備を図っていきます。



双方向のオンライン学習の様子  
(左/県立向陽高等学校)  
(下/和歌山市立加太中学校)



## これからの学びについて

### 小・中学校

学校は、子供たちが一緒になって学び合う場です。学校ならではの学びを大事にしながら、新型コロナウイルス感染症とともに生きる「新しい生活様式」も実践します。また、学校・家庭・地域が連携し、あらゆる手段を用いて、すべての子供の学びを最大限保障するよう努めていきます。

小・中学校においては、新型コロナウイルス感染症に関する正しい知識や感染症の予防について指導します。その上で、各校が感染拡大防止に十分配慮しながら、学習の順序の変更や時間割編成の工夫、学校行事の重点化や準備時間の縮減、長期休業期間の短縮等、様々な工夫により、学校における子供たちの学びを充実していきます。



教室の換気をこまめにします

#### ■小学校1年生

義務教育が始まる小学校1年生については、学校生活に対する期待を高めるとともに、幼児期の学びを小学校の学びに生かし、学校生活をスムーズにスタートできるように取り組んでいきます。

#### ■小学校6年生・中学校3年生

小・中学校の最終学年である小学校6年生、中学校3年生については、限られた授業時間を効果的に使えるよう、年間指導計画を見直します。教科書の内容を精査し、学校の授業で取り扱うべき部分と授業以外の場において取り扱う部分に分け、指導方法を工夫するとともに、補充学習や家庭学習を充実させることを通して、小学校、中学校で学習する内容を確実に学べるよう努めていきます。

### 高等学校

学校再開後は、臨時休業中の家庭学習の成果を確認するとともに、学力の定着が十分でない生徒には補習等で丁寧に学習を補っていきます。また、夏季休業を短縮して授業を行うとともに、ICTを活用したオンライン学習等により、引き続き家庭学習の充実を図り、学びの質をさらに高めていきます。

特に3年生は、就職試験を間近に控えている生徒もいます。また、進学のため、入試改革初年度となる大学入学共通テストに挑む生徒もいます。各学校で、生徒一人一人に丁寧に寄り添い、全力でサポートしていきます。



就職・進学に向けての支援をしっかりと行います

### 特別支援学校

特別支援学校には、感染による重症化リスクの高い子供たちも在籍しているため、各学校ではより一層の感染症対策に取り組んでいます。

特別支援学校では、子供たちが体験をとおして学ぶことを大切にしています。感染症対策として、日々の手洗いや咳エチケットなどのマナーを徹底することが、自分の健康や、身のまわりを清潔に保つことについて学ぶ大切な機会になっています。

安心・安全に配慮しながら、体験活動や実習にも取り組み、充実した学びを進めていきます。

感染症対策の基本を再確認!



次ページへ続く